

Utility Model Laid-Open No: H4-29380

Publication Date: March 9, 1992

Title of the Utility Model: WORK LOADING UNIT

Application No: H2-71959

Filing Date: July 5, 1990

Applicant: Asian Industry Co., Ltd.

What is claimed is:

A work loading unit, comprising:

an interlocking mechanism, in an arranged state where axial lines of two rod-shape objects are crossed, the rod-shape objects including mechanical fingers for holding work at a leading end thereof, which is supported by a support to move in directions of the axial lines and operates two rod-shape objects to move on respective axial lines in opposite directions; and

a driving unit for driving the rod-shape objects in directions of the axial lines thereof.

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-29380

⑬ Int. Cl.<sup>9</sup>B 25 J 15/00  
B 23 Q 7/04  
B 24 B 41/06

識別記号

D  
F  
A

庁内整理番号

8611-3F  
6902-3C  
9135-3C

⑭ 公開 平成4年(1992)3月9日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 考案の名称 ワークローディング装置

⑯ 実 願 平2-71959

⑰ 出 願 平2(1990)7月5日

⑱ 考 案 者 榎 原 功 司 愛知県大府市共和町1丁目1番地の1 愛三工業株式会社  
内⑲ 考 案 者 太 田 紀 夫 愛知県大府市共和町1丁目1番地の1 愛三工業株式会社  
内

⑳ 出 願 人 愛三工業株式会社 愛知県大府市共和町1丁目1番地の1

㉑ 代 理 人 弁理士 乾 昌 雄

## ㉒ 実用新案登録請求の範囲

先端部にワーク把持用のメカニカルフィンガを備えた2本の棒状体を、該棒状体の軸線を交差させた配置状態で、前記軸線方向に移動自在に支持体に支持し、前記2本の棒状体を各軸線上で反対方向に移動するように連動させる連動機構と、前記棒状体を軸線方向に駆動する駆動装置とを具備したことを特徴とするワークローディング装置。

## 図面の簡単な説明

第1図乃至第4図はこの考案の一実施例を示し、第1図はワークローディング装置の縦断面図、第2図は第1図のA-A線断面図、第3図は動作状態を示す第1図相当図、第4図a~iは動作順序を示す略示縦断面図、第5図はこの考案の

他の実施態様を示す第1図相当図、第6図はこの考案のさらに他の実施態様を示すワークローディング装置の一部切欠正面図、第7図は従来のワークローディング装置の一例を示す正面図である。

1……支持体、5……シリンダ、6……スライドピストン(棒状体)、7……軸線、8……メカニカルフィンガ、11……ストツバ、21……ピニオン、25……ラック、26……連動機構、30……ワークローディング装置、40……ワークローディング装置、41……電動機、42……駆動軸、43……歯車、44……棒状体、45……ガイドブツシュ、50……ワークローディング装置、51……支点ピン、52……リンク、53……ピン、54……連動機構。